

技術広報委員会委員殿

一般社団法人
日本グラウンドマンホール工業会
事務局 大石 直豪

第20回 技術広報委員会議事録

1. 開催日時 2021年 7月8日(木) 15時00分～16時00分

2. 開催方法 WEB会議

3. 参加者 (敬称略)

委員長 広 滝 隆 行

副委員長 岩 上 智 一

委 員 清 水 壱 浩

同 加 藤 好 広

同 荒 木 勇 輝

同 森 本 雅 樹

同 山 下 俊 哉

同 松 村 孝

同 松 島 誠 二

同 石 田 康 平

同 竹 中 史 朗

事務局 大 石 直 豪

欠 席 鬼 頭 賢 吾

議事経過

初めに事務局より開催宣言の後、広滝委員長から、本来であれば今年度初回の本委員会は、東京オリンピック開催の見通しもあったため福岡市内で開催する計画だったが、オリンピックは開催されるものの、コロナ禍による緊急事態宣言の再発例やまん延防止措置等の延長などもあることから、WEBでの委員会とした。本日の委員会は、社員総会に変えて行われた報告会の内容を再度共有させて頂き、今年度の活動計画の振返りと、G4規格の改正活動について分科会メンバーとの協議内容や、下水協へ活動している内容を共有するので活発な議論をお願いしたい。との挨拶があり、その後審議に入った。

第1号議案：令和2年度活動報告・令和3年度活動計画報告会 委員会報告の共有

広滝委員長より、報告会で使用した資料(添付資料-①)を基に再度詳細な説明があった。

その後、質問、確認等を募ったが特になく、第1号議案を終えた。

また、理事各位からの報告会でのコメントについて共有し、委員会内での理解を深めた。

第2号議案：日本下水道協会「JSWAS G-4」規格改正活動について

石田委員より、G-4規格への防食性能追加について前回の委員会資料と報告会資料の抜粋資料と、前回委員会からの変更点についてパワーポイントデータで画面共有し、詳細な説明があった。

特に使用状態を想定した防食性能評価方法については、分科会で協議した結果として、実製品(蝶番部品)を用いた試験ではなく、テストピースを用意して、共通の試験治具を用いてキズを入れることでキズの付け方に偏差が出ない試験方法を検証していくとの説明があった。

分科会以降、下水協へG-4規格改正の事前説明を行い、防食表面処理の試験方法は附属書へ、使用状態を想定した防食性能評価方法については、参考資料への掲載を打診している。

7月15日に開かれる下水協 規格調査委員会にG-4改正の要望が提出されているため、G-4規格改正に着手することの可否を8月頃に書面審議とする旨を報告して頂くように現在進めているとの説明があった。

更に、事前の試験データ収集と提供は分科会メンバーで行い、その後下水協側での規格改正への動きがあった場合などは臨時委員会を招集する可能性もあることについて等も含めて、今後の詳細なスケジュールについて説明があった。

以上の説明について、防食性能の試験方法などを含め異論はなく、第2号議案を終えた。

第3号議案：その他

事務局より、昨年度に技術広報委員会マターとして進めていた新たなホームページが、7月1日にリニューアルオープンしたため、コンテンツ等について詳細な説明があった。

その他に、事務連絡として広滝委員長と事務局より次の2点の報告があった。

①下水協 認定資器材研修会が中止となったこと。

②下水協 認定マークの運用変更について、当初下水協から提示された内容について、工業会から見解書を提出していた。(他団体からも見解書を提出されていた。)

その後、下水協より当初より緩和された内容が変更案として提示されたが、他団体より反対意見出されており見直し内容やスケジュールは流動的な状況である。今後も変化があった際には工業会内に共有する。

以上で議案審議を終了し、最後に、岩上副委員長より、令和3年度に技術広報委員会が取り組むべき課題は多くある為、委員が一丸となって前向きに取り組んで行きたい。との閉会の挨拶があった。

この議事録を証するため、委員長次に記名押印する。

2021年 7月8日

一般社団法人
日本グラウンドマンホール工業会

技術広報委員会委員長 広滝 隆行

